



創刊
昭和42年10月10日
第149号
平成29年10月2日
能代市教育委員会
学校教育課
題字 元能代市教育長
鎌田 宏

随想



根のある人に

常盤小・中学校長

菊池 信和

ご存じ、映画「男はつらいよ」の主題歌の二番の歌詞「溝(ぞう)に落ちても根のある奴は いつかは蓮(はぢす)の花と咲く…」この冒頭の部分が高校生の頃から、人の生き方の道標の一つとしてずっと胸の中に残っていました。

一学期の全校集会の講話で「生き方」をテーマに、この歌詞を素材にしました。「話す力」の育成とも絡めて、この歌詞の意味をどう解釈するか生徒から考えを出してもらいました。「自分の考え方がしっかりしていれば、どんな場面でも乗り越えていける」という意味だと思います。「目標をもっている人は、逆境にあっても自分を見失わない…」など、こちらが考えていた以上に深くその意味を捉えていると感じました。

今年度の常盤中の生徒数は二十八名と

三十名を割りました。活動の規模が小さくて、制約があることに慣れてしまっているもの、多感なこの時期をどう思うかで過ごしているのか不安なところがあります。昨年ある生徒が、「僕たちは小さい学校というだけで、まともに相手にされないところがあるんですよ。」と話してくれた言葉が未だに強烈に心に残っています。もしかすれば小さいという思いだけで、大切なところで自分を一杯表現できないなど萎縮してしまっているところはないだろうか。この思いは生徒を指導していく際に、どの職員にも共通してあるようです。

自分のわっぴかに誠実に取り組んでいるこの常中生が、将来どこにおいても芽を出し根を張って、自分なりの花を咲かせられる。そんな人としての土台づくりのためにもうひとがんばりです。



か

活発な発言が
本当の理解に
つながる



揺さぶり

淳城西小学校

教頭

鈴木 伸彦

全校の学習テーマは、「みんなで見つけ、みんなで考え、みんなで作る」。算数の課題に対して、いろんな考えが飛び交います。

ファシリテーター役の平塚先生のしかけが、子どもの思考を揺さぶり、核心に迫る発言を引き出しています。